長島町地域おこし協力隊報告会

長島町地域おこし協力隊７人による活動内容の報告会が６月 24 日、指江庁舎大ホールで行われました。

隊員が長島町でどのようなことを感じ、どのような活動を行ってきたか、また、今後どのような活動を行っていくかスライドなどを使いながら発表しました。会場には、平日の夜にも関わらず、約 70 人が来場。隊員の発表後には、傍聴者からの質疑に応えるなど、熱気にあふれた報告会となりました。

発表の概要は次のとおりです。

←報告会には多くの人が参加

インターネットでできた取り組みとやりたいこと

土井　隆　隊員

日本を代表するインターネット会社 楽天のほか、ＫＤＤＩ、ドワンゴ、クックパッド、ビズリーチ、ルクサなどと連携した活動をスタート。長島の特産品をインターネットで販売する「長島大陸市場」も立ち上げました。これからもインターネットを活用して長島町の魅力を発信していきます。

長島町の食材をもっと多くの人に知ってもらうために

太田　良冠　隊員

前職でミシュランなどをとっている約８００店舗の高級レストランへ訪問し、料理人との関係を構築。その関係を生かして、長島町と辻調理師専門学校との包括連携協定を結び、有名シェフを長島に招聘し生産者と交流する「長島大陸視察ツアー」を実施してきています。これからも、生産者と料理人をつなぐ活動をしていきます。

長島町の自然の魅力を生かし、発信したい！！

丸山　啓志　隊員

獅子島の白亜紀の化石や、豊かな農水産物、ツルの北帰行など、長島ならではの豊かな自然を生かし、その魅力を発信することで「長島のファン」を増やしていきたいです。また、大学や博物館などの外部の研究機関と連携しながら、科学教室などで自然科学の楽しさを町内外のかたがたと共有する活動もしていきます。

大規模災害と地域の復元力～熊本地震の経験から～

明石　照久　隊員

阪神淡路大震災では、復興業務に携わった経験があるほか、先般の熊本地震でも被災しました。このため、地域の防災・減災教育や地域人材の育成に関心があります。長島町でも、地域人材の発掘と育成に貢献できる活動をしていきます。

長島ならではの最高の教育をつくりたい！

神明　竜平　隊員

インターネットを生かした、新しい教育のかたちを長島でつくりたい。「子どもの教育は長島でやりたい」と、長島のかたや、他の地域のかたに強く思ってもらえるような教育を作っていきます。現在は、カドカワ株式会社とともに「ネットの高校。Ｎセンター」の設立準備中です。

健康増進「長島大陸じゃがじゃがジム」

鬼氣　悟士　隊員
益田奈央子　隊員

長島町の医療費削減をテーマに、町民に運動指導を提供する活動を行っていきます。提供方法としては、町内各種施設への訪問型と拠点施設での活動の２パターンを同時並行で進めていく計画です。また、スポーツ選手を招聘して、長島町のスポーツの振興とこれによる地域の活性化につながる活動をしていきます。

地域おこし協力隊がこれまで携わった事業例

↑「長島大陸市場」のウェブサイト（https://nagashimatairiku.com/）

↑有名シェフを長島へ招いての「長島大陸視察ツアー」

長島町ラッピングトラック補助金交付制度

町では、主に関東・関西方面へ輸送するトラックに、長島町のイメージアップや広報に寄与するラッピング広告を掲出する事業者に対して、その費用の一部を補助します。

○交付対象者

主に関東・関西方面へ輸送するトラックに広告を掲出する事業者

○補助対象事業

フルラッピング広告またはハーフラッピング広告で、町のＰＲデザインがおおむね2分の1程度含まれるもので、町の農産物、畜産物、水産物、加工品などの商品を題材とし、それが容易に認識できるデザインであること

○補助対象費用

・ラッピング施工費用
・デザイン費用

○補助金

①補助金は予算の範囲内で交付します（申請者多数の場合は、運行する場所、頻度、耐用年数を総合的に考慮して判断します）
②補助金限度額
1台　１００万円

○事前協議書提出期限

8月5日（金）

◎提出・問い合わせ先

役場総務課（地方創生）
☎（86）１１１１［直通］

※イラストはイメージです